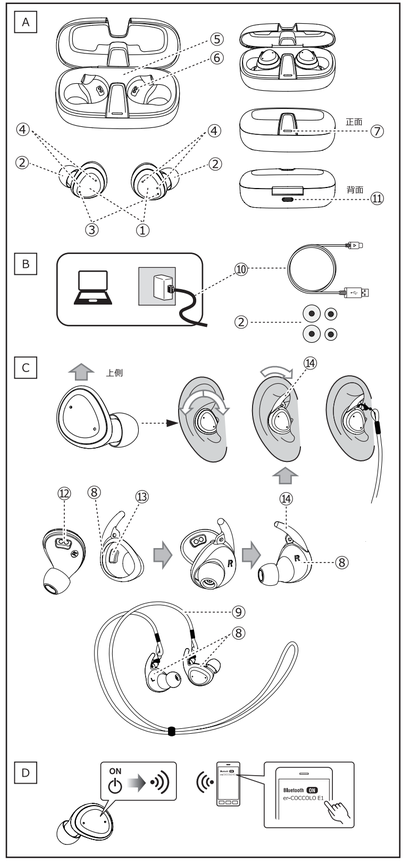
earfredo er-CO·CCO·LO E1

完全ワイヤレスイヤホン
ユーザーガイド

はじめに

この度は、イアフレド製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を正しく安全にお使い頂くために、ご使用の前にこの取扱説明書に記載された「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書は取り扱い説明書とともに大切に保管してください。

保証書付



A　製品、付属品、各部名称

① 操作キー
② イヤーピース（S,M,L サイズ）M サイズは本体に装着
③ イヤホン LED
④ マイク
⑤ 充電ケース
⑥ 充電端子
⑦ 充電ケース LED
⑧ スタビライザー（L,R）
⑨ ストラップ
⑩ USB 充電ケーブル（Type C）
⑪ USB 充電用端子（Type C）
⑫ イヤホン充電端子
⑬ スタビライザー凸部
⑭ スタビライザー先端部
⑮ ユーザーガイド・安全上の注意（本書）

B 充電する

USB 充電ケーブルを使ってイヤホン、充電ケースを充電する

1．付属の USB 充電ケーブルで、充電ケースの充電用端子とパソコンの USB 端子、または市販の AC アダプター（DV5V/0.5A 以上対応）に接続する。
2．イヤホンの L,R を確認して、イヤホンを充電ケースに入れる。
3．イヤホン LED が赤色に点灯していることを確認する。（充電開始）
- 充電中はイヤホン LED が赤色に点灯し、充電が完了すると青色に数秒間点灯後に消灯します。
- 充電は約 2 時間で完了します。 1 回の充電で約 7 時間の連続再生が出来ます。
- 充電ケースが充電されている場合は、充電ケース LED が青色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

充電ケースでイヤホンを充電する

充電済の充電ケースのみでイヤホンを充電します。外出先など電源のないところでもイヤホンを充電することができます。
1．イヤホンの L,R を確認して、イヤホンを充電ケースに入れる。
2．イヤホン LED が赤色に点灯していることを確認する。（充電開始）
- 充電中はイヤホン LED が赤色に点灯し、充電が完了すると青色に数秒間点灯後に消灯します。
- 充電中は充電ケース LED も青色に点灯します。充電が完了すると消灯します。

電池残量のお知らせ

□　イヤホン
イヤホンの電源を入れると、電池残量が約 70%以上の時は、“バッテリーハイ“、約 30~70%の時は”バッテリーミディアム“、約 30%未満の時は”バッテリーロー“　と電池残量をアナウンスします。イヤホン使用中に電池残量が少なくなると、イヤホン LED が 5 秒おきに 1 回赤色に点滅し、約 5 分間に 1 回電子音が鳴ります。

□　充電ケース
充電ケースの電池残量が 30%以下になると、イヤホンを充電ケースに入れた際、及び USB 充電ケーブルで充電ケースの充電端子とパソコン等に接続した際に、充電ケース LED が青色に約 30 秒間点滅します。電池残量が 10~30%の場合は五秒毎に点滅し、10%未満の場合 1 秒毎の点滅に変わります。

イヤホンを充電ケースに入れなおしても、充電ケース LED が青色に点灯または点滅しない時は、充電ケースの電池残量がありません。

C　装着のしかた

十分な特性を得るために、イヤホンを正しく装着して下さい。イヤーピースは左右それぞれの耳の孔に合うサイズのイヤーピースを選んで装着して下さい。

イヤホン装着方法

1．イヤホンの向き（上、下）と L（左）R（右）を確認する。
2．イヤホンを少しずつ左右に回転させながら、しっかりと装着する。
3．イヤホンが落ちやすい場合は、別のサイズのイヤーピースに交換してください。

スタビライザー装着方法

1. スタビライザーの L（左）R（右）とイヤホンの L（左）R（右）が一致していることを確認する。
- L（左）R（右）が一致していないと、イヤホンとスタビライザーが耳に正確に収まりませんのでご注意下さい。
2. スタビライザー凸部がイヤホン充電端子に収まる様に位置を合わせて組み込む。
3. スタビライザー先端部が耳内に収まる様に回しながらしっかりと装着する。
- スタビライザーを使用することで、装着したイヤホンが耳から外れにくくなります。
- スタビライザーを装着した状態では充電ケースで充電できませんので、一旦スタビライザーを取り外してから充電して下さい。

ストラップ装着方法

1. ストラップを使用する場合は、両端のフック金具をスタビライザーの穴に通す。
2. ひもを首の後ろに回して掛けた状態でイヤホンをしっかりと装着する。
- ストラップ（及びスタビライザー）を使用することで、装着したイヤホンがより耳から外れにくくなり、地面に落ちにくくなります。
- ストラップ（及びスタビライザー）を装着した状態では充電ケースで充電できませんので、一旦ストラップ（及びスタビライザー）を取り外してから充電して下さい。

D　Bluetooth®　接続する

本機を初めて使用する際は、接続する Bluetooth®機器同士を認識させる操作（ペアリング）を行います。一度ペアリングをすれば、次回からはイヤホンの電源を入れると自動的に Bluetooth®機器に接続します。
複数の Bluetooth®機器と接続した場合は、直前に接続した Bluetooth®機器に自動的に接続されます。それ以前に登録した Bluetooth®機器と接続する場合は、Bluetooth®機器の Bluetooth®メニューから、機器名「er-COCCOLO E1」を選択して接続する事ができます。

初めてBluetooth®機器にペアリングする

1．充電ケースからイヤホンを取り出す。
- L または R 片方のみ、L と R 両方どちらでも使用できます。
- “ペアリング“のアナウンスが流れます。
- イヤホン LED が交互に青と赤色の点滅になります。
2．Bluetooth®機器の電源を入れ、Bluetooth を有効にする。
3．Bluetooth®機器の Bluetooth メニューから、機器名「er-COCCOLO E1」を選択する。
4．Bluetooth®機器とイヤホンが接続状態になっていることを確認する。
- 接続されるとイヤホン LED の点滅が消灯します。

2 台目以降の Bluetooth®機器にペアリングする

1．直前に接続した Bluetooth®機器との接続を解除しておく。
2．充電ケースからイヤホンを取り出す。
3．L,R のどちらかのイヤホンの操作キーを 5 秒間のみ長押しする。
- “パワーオフ“のアナウンスが流れます。
- イヤホン LED が赤色に 2 秒点灯します。
4．再度、上記イヤホンの操作キーを 7 秒間のみ長押しする。
- “パワーオン““バッテリー…“に続いて“ペアリング“のアナウンスが流れます。
- イヤホン LED が交互に青と赤色の点滅になります。
5．Bluetooth®機器の電源を入れ、Bluetooth を有効にする。
6．Bluetooth®機器の Bluetooth メニューから、機器名「er-COCCOLO E1」を選択する。
7．Bluetooth®機器とイヤホンが接続状態になっていることを確認する。
- 接続されるとイヤホン LED の点滅が消灯します。

ペアリングに要する時間

充電ケースからイヤホンを取り出してから、約 5 秒以内で自動的にペアリングされます。直前に登録された Bluetooth®機器との接続ができない場合、または使用中に接続が途切れた場合は、約 15 秒後に自動的にペアリングモードに入り、“ペアリング“のアナウンスが流れ、イヤホン LED が交互に青と赤色の点滅になります。

イヤホンの電源を入れる

充電ケースからイヤホンを取り出す。または L,R の操作キーを 5 秒間長押しする。
- 電源オンするとイヤホン LED が青色に 2 秒点灯します。
- “パワーオン“のアナウンスが流れます。

イヤホンの電源を切る

イヤホンを充電ケースに入れる。または L,R の操作キーを 5 秒間長押しする。
- 電源オフするとイヤホン LED が赤色に 2 秒点灯します。
- “パワーオフ“のアナウンスが流れます。

イヤホン基本操作

音楽を聴く

再生	左右どちらかの操作キーを 1 回押す
一時停止	再生中に左右どちらかの操作キーを 1 回押す

通話する

電話を受ける	着信時に左右どちらかの操作キーを 1 回押す
電話を切る	通話中に左右どちらかの操作キーを 1 回押す
着信拒否	電源ボタン 1 秒間押す

通話ノイズキャンセル機能

ノイズ環境下における通話において、ノイズをキャンセルして自分の声を通話相手に送ることができます。初期は ON（アクティブモード）で、専用アプリを利用して ON（アクティブモード）/OFF（エコモード）の切替や ON（アクティブモード）時の 5 段階の強弱の設定が可能です。ノイズキャンセル設定はアプリのみで可能です。詳細はアプリケーション・マニュアルを参照願います。充電ケースに戻した際でも、通話ノイズキャンセルの設定は保持されます。
＊ご留意事項
OFF（エコモード）に設定する場合は、通話前に設定して下さい。通話中にエコモードに設定しても省電力に切り替わりません。
通話ノイズキャンセリング機能は、あらゆる周囲の騒音を 100%打ち消すようなものではありません。特に周囲の人の声の場合は十分な効果が得られない場合があります。

＊PC と接続した際のご注意
PC とペアリングした後に、PC のマイク入力設定メニューから「er-COCCOLO E1 Hands Free AG Audio」 が選択されていることをご確認下さい。ＰＣ内蔵マイクのまま通話すると、イヤホンの通話ノイズキャンセルが機能しません。例えば Windows10 の場合、①設定②システム③サウンドの順で設定画面を開き、入力デバイス 「ヘッドセット（er-COCCOLO E1 Hands Free AG Audio）」を選択して下さい。Zoom 使用の場合、①設定②オーディオ③マイクの順で設定画面をご確認下さい。

アンビエント（外音取り込み機能）

アンビエント切替	左右どちらかの操作キーを 3 回押す。

外の音をマイクで取り込んで、イヤホンから再生します。イヤホンを外すことなく周囲の音を聞くことができます。充電ケースから取り出した際は、アンビエント機能は OFF の状態です。専用アプリを利用してアンビエント機能 ON/OFF や集音時の音圧レベルの調整が可能です。詳細はアプリケーション・マニュアルを参照願います。充電ケースに戻した際にアンビエント設定はリセットされます。

音声アシスタント起動

音声アシスタント起動	左右どちらかの操作キーを 2 回押す

操作キーを使って、Siri またはその他の音声アシスタント機能を起動させることができます。

工場出荷設定に戻す

イヤホン内の情報を全て消去したい時に、工場出荷設定（お買い上げの状態）に戻す事ができます。
1．L（R）側のイヤホンの操作キーを 5 秒間のみ長押しする。
- “パワーオフ“のアナウンスが流れます。
- イヤホン LED が赤色に 2 秒点灯します。
2．再度、上記イヤホンの操作キーを 15 秒間のみ長押しする。
- “パワーオン““バッテリー…“に続いて“ペアリング“のアナウンスが流れた後に、電子音が鳴ります。
- イヤホン LED が青の点滅になります。
3．同様に R（L）側のイヤホンも上記の操作を行った後、L（R）側のイヤホンと近づけます。
- L,R 両方のイヤホン LED の青の点滅が消灯すると、工場出荷モードになります。

本製品は、Bluetooth® Ver.5.2 BLE(Bluetooth Low Energy)に対応した製品です。BLE 通信を使用して、スマートフォンにインストールした専用アプリケーションから、本体の充電池の残量、通話ノイズキャンセルのレベル調整、アンビエントの集音レベルの調整が可能です。詳細はアプリケーション・マニュアルを参照願います。

仕様

Bluetooth® バージョン	Ver.5.2
送信出力	Class 1
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HSP、HFP
対応コーデック	SBC、AAC、aptX™
最大通信距離	約 10m（妨害の無い時）
登録機器数	最大 7 台
内蔵電池（イヤホン・充電ケース）	3.7V リチウムイオン電池
充電時間（イヤホン・充電ケース）	約 2 時間
連続再生時間・連続通話時間	最大約 7 時間・最大約 4.5 時間
充電ケースによる本体充電回数	約 3 回
ドライバーサイズ	直径 5mm
防水性能	IPX4 相当（イヤホン部のみ）
外形寸法（イヤホン）	W26.9 x D22.1 x H24.6(mm)
外形寸法（充電ケース）	W82.7 x D43.3 x H30.4(mm)
質量（イヤホン・充電ケース）	5.3g x 2 ・50.7g
充電推奨温度範囲	10℃～35℃
使用温度範囲	0℃～40℃

使用上のお願い

ご使用について

□　使用、保管場所について
- 直接日光が当たる場所に置かない
- ほこりの多い場所に置かない
- 振動の多い場所に置かない
- 風呂場などの湿気の多い場所で使用したり、置いたりしない
- 充電時や保管時は充電ケースのふたを閉じてください。
- イヤーピース、スタビライザー、ストラップは誤飲防止のため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

□　取り扱いについて
- 落としたり、ぶつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 水、洗剤で洗わないでください。
- 充電ケースのふたは無理に開けないでください。

□　音量について
- 騒音の多い所でも音量を上げ過ぎず、呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

□　イヤホンを清潔に保ってください
- ご使用後は、イヤーピースに耳垢やごみなどが付いていない事を確かめてください。付着している場合は、イヤホンからイヤーピースを取り外して、息を吹きかけるなどして取り除いてください。

Bluetooth®について

□　使用周波数帯
本機は 2.4GHz 帯の周波数を使用していますが、他の無線機器との電波干渉を防止するために、下記事項に留意してご使用ください。

□　周波数表示の見方

2.4 FH4/XX4

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用
「FH4」：変調方式が FH-SS 方式で、電波与干渉距離 40m 以下
「XX4」：変調方式がその他の方式で、電波与干渉距離 40m 以下
■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

無線に対するご注意
この製品の周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器の他、工場の製造ライン等で使用されている移動体通信用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていない事を確認して下さい。
- 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を中止）してください。

□　機器認定
本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
- 分解する。改造する。

□　使用制限
- 日本国内でのみ使用できます。
- すべての Bluetooth® 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信する Bluetooth® 機能対応機器は、The Bluetooth SIG. Inc.の定める標準規格に適合し認証を受けている必要があります。ただし、適合している機器であっても、機器の仕様や設定により接続できないことがあり、操作方法・表示・動作を保証するものではありません。
- Bluetooth® 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、

使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合があります。ワイヤレス通信時はご注意ください。

- ワイヤレス通信時に発生したデータおよび情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

□ 使用可能距離

見通し距離約１０ｍ以内で使用してください。間に障害物や近くに干渉機器が有る場合や、人が間に入った場合、周囲の環境、建物によって使用距離は短くなります。上記の距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。

□ 他機器からの影響

磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。次の機器の付近などで使用すると、通信が切れたり速度が遅くなったりすることがあります。
電子レンジ、デジタルコードレス電話、2.4GHz 帯の周波数を使用する機器の近く（ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など）、電波が反射しやすい金属物などの近く。放送局などが近くにあり周囲の電波が強すぎると、正常に動作しないことがあります。

□ 用途制限

本機は一般用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。ハイセイフティ用途には使用しないでください。

- ハイセイフティ用途とは直接生命・身体に重大な危険性を伴う制御に置いて、極めて高度な安全性が要求される用途のことをいいます。例：原子力施設における核反応制御／航空機自動飛行制御／航空交通管制／大量輸送システムにおける運搬制御／生命維持のための医療機器／兵器システムにおけるミサイル発射制御など

故障かな？と思ったら

症状	原因と対応のしかた
Bluetooth® 機器とペアリング出来ない	● Bluetooth®機器側の電源が入っていることを確認してください。 ● Bluetooth®機器側が A2DP プロファイルをサポートしていることを確認してください。 ● Bluetooth®機器側が他の電子機器と Bluetooth®通信をしていない事を確認してください。 ● Bluetooth®のサポート範囲内である事を確認します。障害物がある場合は、イヤホンと電子機器を近づけて確認してください。 ● イヤホンを再起動してください。 ● 干渉の元となる障害物から離れ、再度イヤホンと Bluetooth®機器を近づけてペアリングをしてください。 ● Bluetooth®機器の Bluetooth®の接続を一度 OFF にし、再度 ON で再検索を行ってください。 ● ペアリングリストから本機登録情報を削除してから再度ペアリングをし直してください。
音が出ない	● Bluetooth®機器の電源が入っている事を確認してください。 ● Bluetooth®機器から音声が出力されていることを確認してください。 ● Bluetooth®接続状態で電子機器の音量が小さすぎないか確認してください。 ● Bluetooth®機器とイヤホンを干渉や障害物から離して確認してください。 ● Bluetooth®通信可能距離（約 10m）を超えていないか確認し、Bluetooth®機器とイヤホン近づけてください。 ● イヤホンのバッテリー残量を確認してください。 ● 別の楽曲や音楽再生アプリで確認してください。 ● 別の電子機器と接続して確認してください。
音が途切れる 雑音が多い 音質が悪い	● Bluetooth®は電子レンジや同じ Bluetooth®機器と干渉しますので途切れる事があります。 ● イヤホンや Bluetooth®機器を手のひらで覆っていると通信が遮断されて音が途切れることがあります。 ● 電源を切るか離れてから再度確認します。
通話できない	● Bluetooth®機器側が「HSP」または「HFP」プロファイルに対応しているか確認してください。Bluetooth®対応電話機の取り扱い説明書もご覧ください。 ● Bluetooth®対応電話機の音声設定を確認して、本機で通話する設定になっていない場合は、設定を切り替えて下さい。
イヤホンを充電できない	● USB 充電ケーブルがパソコンまたは AC アダプターの USB 端子にしっかりと接続されているかを確認してください。 ● イヤホンが充電ケースに正しく挿入されていること、充電ケースにイヤホンを入れた際にイヤホン LED が赤になったことを確認してください。 ● イヤホンを充電ケースに入れても、イヤホン LED が点灯しない場合は充電ケースの電池残量がありません。まずは充電ケースを充電してください。 ● 室温 10℃から 35℃の範囲で充電してください。 ● パソコンの電源が入っていることを確認してください。スタンバイやスリープ状態になっていると充電できません。 ● USB ポートが正常か、他の USB ポートもお試しください。 ● USB 充電ケーブルを抜いて、再度差し込んで下さい。 ● 満充電状態の場合は、イヤホン LED はすぐに消えます。 ● 充電時間と動作時間が短くなった場合は、イヤホンおよび充電ケース内蔵の電池が消耗している可能性があります。
充電中にイヤホンまたは充電ケースが温かい	● 充電中はイヤホンまたは充電ケースが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。
イヤホンを操作できない	● 電源を入／切してください。
イヤホンの電源が入らない	● 一度充電ケースに入れて、イヤホン LED が赤に点灯した後、取り出してみてください。
イヤホンを入れても充電ケース LED が点灯しない	● 電池の残量がない状態です。USB 充電ケーブルを使って充電してください。
片方のイヤホンの LED が青に点滅して消灯しない	● 工場出荷モードの状態です。点滅していない側のイヤホンの操作キーを 15 秒長押しして下さい。青の点滅が開始後、両方のイヤホンを近づけると青の点滅が消灯します。
イヤホンの LED が紫に点滅する	● 生産用モードの状態です。点滅するイヤホンの操作キーを 5 秒間のみ長押しして下さい。“パワーオフ”のアナウンスが流れ、解除されます。 ● 20 秒以上操作キーを長押ししない様にご注意下さい。

- 修理が必要な場合は、必ずカスタマーサービスにお問い合わせください。故障の際は内部をあけたりしないでください。

著作権について

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。イアフレド株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および商標登録です。

Qualcomm® aptX™

Qualcomm aptX™は、Qualcomm Technologies、Inc.および/またはその子会社の製品です。

保証とアフターサービス

この製品の保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。保証期間中は以下の保証規定に基づき修理致します。保証はご購入頂いた国でのみ有効です。

1. 保証期間内に、取扱説明書に記載の警告、注意書きに従った使用状態で故障した場合には、無償で修理させて頂きます。
2. 保証期間内でも次の場合には、有償で修理させて頂きます。

(1)保証書に記載の必要書類が揃っていない場合。
(2)イヤホンに強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりした場合。ケーブルに無理な力がかかるような状況下で起こった故障や断線。
(3)火災、地震、風水害、落雷、その他天変地異などによる故障及び損傷。
(4)筐体表面の傷の修理、筐体自体の修理。

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。
ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用頂き、お客様やほかの方への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

⚠ 危険	死亡や重症を負う恐れがある大きい内容です
⚠ 警告	死亡や重症を負う恐れがある内容です
⚠ 注意	軽傷を負うことや、財産の損害が発生する恐れがある内容です

⃠ 禁止を示す記号です。　❗ 実行しなければならない記号です

⚠ 危険

❗ **本機（充電ケース）は、付属の USB 充電ケーブルを使い、指定の方法で充電する。**指定外の方法で充電すると、電池の液漏れや、発熱、破裂の原因になります。

⃠ **水のかかるおそれのある場所で、本機（充電ケース）USB 充電ケーブルを使わない。**台所、洗濯機などで使用すると感電の原因になります

⃠ **本機は充電式電池を内蔵しています。**
- **火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない**
- **電子レンジやオーブンで加熱しない。**

発熱・発火・破裂の原因になります。

⚠ 警告

❗ **異常故障時には直ちに使用を中止する**
充電ケースの充電時に異常があったときには、USB 充電ケーブルを抜く。
イヤホンの充電中に異常があったときには、イヤホンを取り外す
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 内部に水や異物が入った
- 本機や USB 充電ケーブルが破裂した

そのまま使うと火災感電の原因になります。
- 本機に異常があるときは充電ケースからイヤホンを取り出して、販売店にご相談下さい。

⃠ **USB ケーブルやプラグを破損するようなことはしない（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、思い物を載せる、束ねるなど）**
傷んだまま使用すると、ショートによる火災の原因になります。

⃠ 分解禁止 **分解、改造しない**
機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

⃠ **内部に異物を入れたり、水等の液体をかけたりぬらしたりしない**
ショートや発熱により、火災感電故障の原因になります
- 本機（イヤホン）もしくはイヤピースの孔に水滴が付着している場合は、水滴を拭き取ってから充電してください。
- 湯煙や湯気、水しぶきの当たる所、湿気やほこりの多い所では使用しないでください。
- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⃠ **本機（イヤホン）は乳幼児やペットの手の届くところに置かない**
ご使用後は、充電ケースに入れてふたを閉め、乳幼児やペットの手の届かないところに保管してください。誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。
- 万一、飲み込んだと思われるときには、すぐに医者にご相談下さい。

⃠ **乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所では本機を使わない**
事故の原因になります。踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

⃠ **本機（イヤホン）を使用時は、音量を上げ過ぎない**
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

❗ **航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う、もしくはご利用の航空会社へ使用条件を確認する**
電波が影響を及ぼし誤動作による事故の原因になる恐れがあります。

⃠ **自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⃠ **病院内や医療用電気機器のある場所では使用しない**
本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

❗ **心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から 15cm 程度以上離す**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⃠ **満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる場合があるので、使用しない**
本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

❗ **イヤーピースは本機（イヤホン）にしっかり取り付ける**
はずれて耳に残ると、けがや病気の原因になります。

❗ **本機（イヤホン）の接続前に音量を下げる**
音量を上げ過ぎた状態で接続すると、大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。音量は少しずつ上げて使用してください。

⃠ **本機や USB 充電ケーブルの上に重い物を載せたり、乗ったりしない**
落下すると、けがの原因になることがあります。また重量で外装ケースやコードのプラグが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

⃠ **異常に温度が高くなるところに置かない**
特に真夏の車内、車のトランクの中には、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。また外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますので、ご注意ください。

❗ **本機が直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する**
そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

⃠ **本機に磁気の影響を受けやすいものを近づけない**
本機の磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

⃠ **本機（イヤホン）の温度に注意する**
本機の充電中および充電直後は温度が高くなることがありますので、ご注意ください。取り出し後すぐに温度が高い状態で装着すると、お客様の体質、体調によっては、肌の赤身やかゆみ、かぶれなどの原因になることがあります。

イヤホンの防滴について

イヤホンは IPX4 相当の防滴仕様であり、完全防水仕様ではありません。IPX とは、JIS C 0920(IEC 60529)「電気機器器具の外郭による保護等級(IP コード）」の「水の侵入に対する保護等級」です。

□ **IPX４（水の飛沫に対する保護等級）について**

常温の水道水にてイヤホンから約 20cm 離れて、あらゆる方向から約 1.8L/分の水を 10 分間ノズル散水したあと、イヤホンが動作することに対応しています。
充電ケース、付属の USB 充電ケーブルは防滴仕様ではありません。

＊すべての条件での防滴を保証するものではありません。

□ **ぬれる可能性のある場所（水しぶき、雨など）での使用時のお願い**

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。
- 手がぬれた状態やお本機（イヤホン、充電ケース）に水滴が付いたままで充電ケースの充電や、イヤホンの充電をしない。
- USB 充電ケーブルを使用しない。
- 石鹸水や洗剤をかけたり、水の中に沈めたりしない。
- 寒冷地で水滴がついた場合は、乾いた柔らかい布でふく。
- イヤホンやマイクに水が付着した場合は、乾いた柔らかい布でふく。
- イヤーピースの孔の中に水滴が残っている場合は、音が小さく聴こえたり、音が聴こえなくなることがありますので、その際にはイヤーピースを取り外して水滴を取り除いてください。

＊万一、イヤホンまたは充電ケースに水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

廃棄するときのお願い

内蔵している電池はリサイクル可能な貴重な資源です。本機の廃棄に関しては、一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄せず、お住まいの市区町村の条例に従ってください。

⚠ 危険

⃠ **本機専用の電池のため、本機以外に使用しない**
- 電池を取り出して、充電しないでください。
- 火への投入、加熱をしないでください。
- くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
- 火のそばや炎天下など高温の場所に放置しないでください。
- ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 火中への投入をしないでください。

⚠ 警告

❗ **電池残量が無くなってから廃棄する**
製品廃棄後に、発熱・発火・破裂を起こす原因となります。

⃠ **電池の液がもれたときは、素手でさわらない**
液が目に入ったときは、失明の恐れがあります。
- 目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になります。
- きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

反重式 リチウムイオン電源使用
Li-ion00

保証書・Warranty Card

この度は、イアフレド製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このカードは保証をお受けになる際に必要になります。レシート等、購入日を証明するものと一緒に保管し、保証を受けられる際はご提示下さい。保証規定はマニュアルをご参照ください。

機種名	Smart Intelligence Earphone
型番	E1
保証期間	お買い上げ日より１年 お買い上げ日　　年　月　日
お客様	ご住所　〒 お名前　　様
販売店様	店名／住所／電話番号 印

イアフレド株式会社